

# CITIZEN®

## 電波時計（デジタル電子音目覚まし時計）取扱説明書

### ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい日時に自動修正
- カレンダー、温度、湿度表示
- 掛・置兼用

お買い上げいただきありがとうございます。  
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

### ●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用、または現品交換で対応させていただくことがあります。

### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

### ●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

### 発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

**お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005**（フリーダイヤル）  
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

**お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ129」をお伝えください。**

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1110)

GUARANTEE 保証書			
※品名・型番	8RZ129		
※保証期間	お買い上げ 年 月 日より 1年間		
お客様	ご氏名	様	
	ご住所		
	TEL ( )	-	
※販売店印（所在地、店舗名、電話番号）			

※印は販売店記入

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

### ■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

### 保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換 ※送料・出張料は、実費をいただきます。

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

**警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

**必ず守る** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

**禁止** 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない。

**電池からもれた液に素手で触れない**

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●もれた液に直接触れないでください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

**注意** 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

**必ず守る** 電池の⊕⊖を正しく入れる  
液もれや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

**浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない**  
さびの発生や故障の原因になります。

**必ず守る** 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

**分解したり改造しない**  
けがや故障の原因になります。  
分解禁止

### ■使用場所について

**必ず守る** 下記のような場所では使わない

品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温泉などガスの発生する所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 多くの油を使用する所。(調理場など)
- 温度が-10℃以下の所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。

## 温度・湿度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスの室内用です。

### 設置場所について

空気がよく循環する場所に設置してください。  
直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

**つぎのような場所では使用しないでください。**

屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中

※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。一般的な室内の低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。

※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでできます。

○センサーが時計内部にあるため、すぐには周囲の温度・湿度の変化を反映しません。

### 測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 「HH.H」50℃より高温 「LL.L」-9.9℃より低温

湿度 「HH」95%を超えている 「LL」20%未満

「--」測定不能（温度が5～50℃の範囲外）

湿度表示は相対湿度です。

空気のなかにどれだけ水蒸気（水が気体になったもの）があるかを示すものです。単位体積当たりの空気に取り込める水蒸気の最大量は温度によって変わり、これを飽和水蒸気量といいます。この飽和水蒸気量と実際に空気に含まれている水蒸気量の比を百分率で表したものが相対湿度です。

単位は「%RH」ですが、天気予報など一般的には「%」で表示されることが多いです。

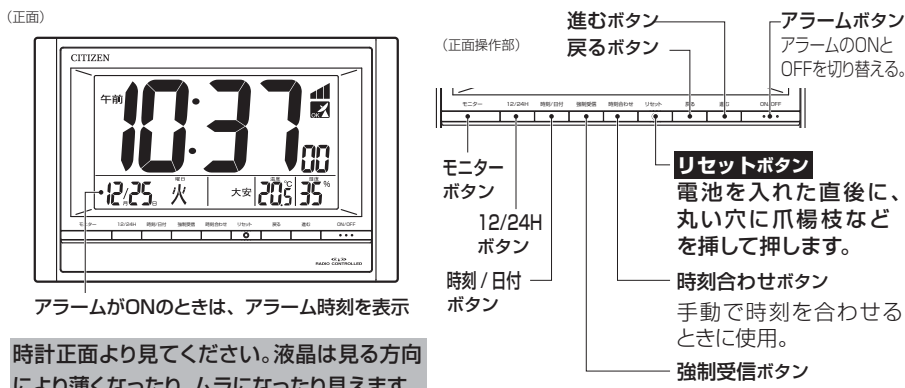
## 静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

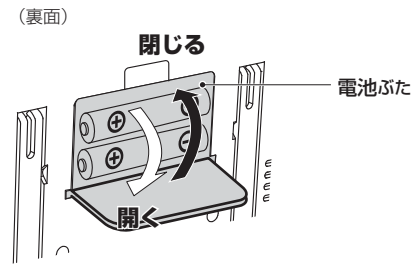
この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



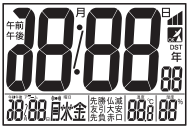
## 1 電池を入れ、標準電波を受信して日時を合わせる



- 電池ぶたを開ける。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形マンガン乾電池を2個入れる。  
※電池の⊕⊖を逆向きに入れると液もれ、発熱、破裂の危険があります。
- 電池ぶたを閉じる。

### 【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉

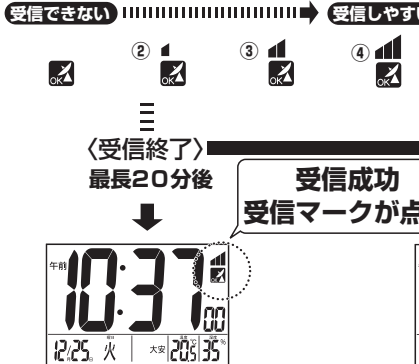


〈受信開始〉



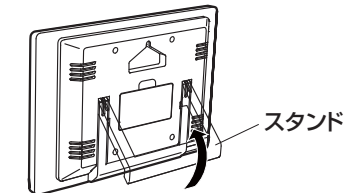
電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

**受信マークの変化**（電波サーチ機能）  
電波の状態により変化します。



- （受信に成功したときの表示例） （受信に失敗したときの表示例）
- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
  - 受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

## 置く



置いてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。

※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※転倒を防ぐために、水平で安定したところに設置してください。

## 標準電波を受信できない場合

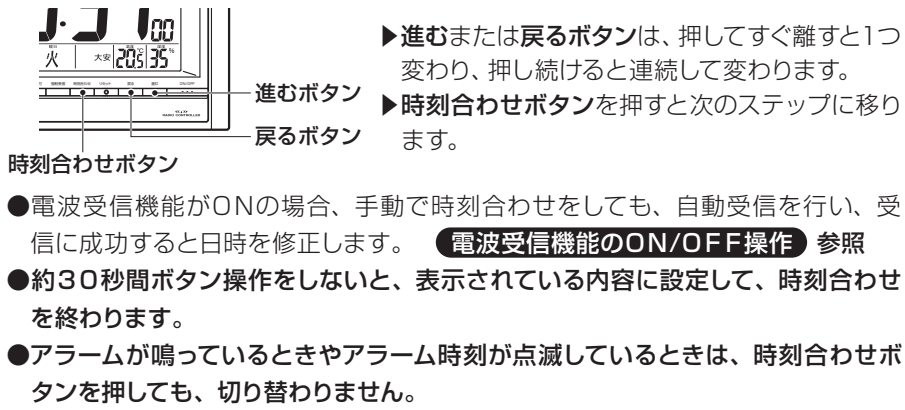
- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ざわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

## 標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせて、ご使用ください。

## 手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。このときの時間精度は、平均月差 ±30 秒のクォーツ精度になります。

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。



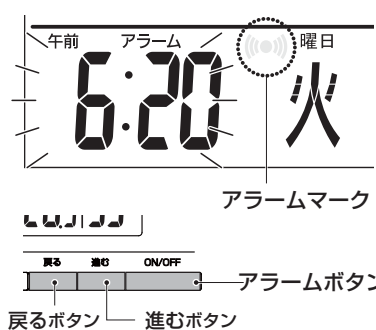
操作例. 2012年12月25日 午前10:37に合わせる

- 設定を開始する**  
西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける。
- 西暦年**  
進むまたは戻るボタンで「2012」年に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 月**  
進むまたは戻るボタンで「12」月に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 日**  
進むまたは戻るボタンで「25」日に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 時**  
進むまたは戻るボタンで「10」時に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 分（秒）**  
進むまたは戻るボタンで「37」分に合わせる。このとき進むまたは戻るボタンを押すたびに「00」秒に設定されます。
- 時刻合わせボタン**を押して設定を終わります。

## 2 アラーム機能を使う

### アラーム時刻を合わせる

12時間表示のときは午前/午後の表示に注意



- ①アラームボタンを押してアラームマークを消す
- ②進む／戻るボタンを押してすぐ離す  
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
- ③進む／戻るボタンでアラーム時刻を合わせる  
押してすぐ離すと1分単位に、押し続けると連続して変わります。
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

### アラームのON/OFFを設定

アラームがONのとき  
アラーム時刻とアラームマークを表示



アラームボタンを押すとON/OFFが切り替わります。

ON 設定時刻にアラームを鳴らす  
アラームマークを表示させる。

OFF 止める、鳴らさない  
アラームマークを消す。

### アラームオートストップ（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。アラームはONのままです。アラームがONのままでは、毎日アラームが鳴りますので、必要が無いときは、アラームをOFFにしてください。

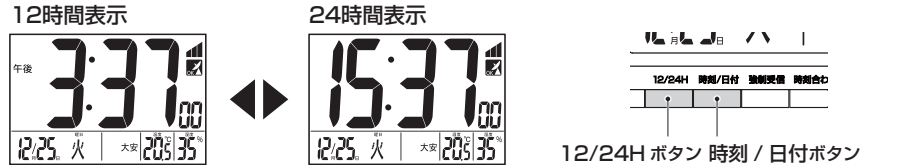
### アラーム音の試聴（モニターボタン）

モニターボタンを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、モニターボタンを押してください。

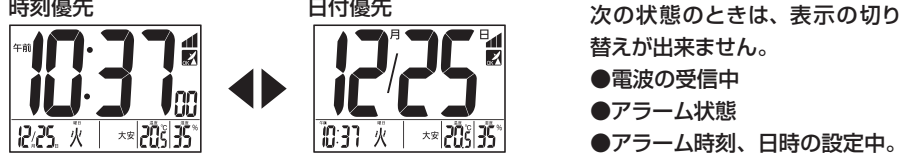
- 電波の受信中、日時、アラーム時刻の設定中、アラーム状態のときは使えません。

## 3 表示形式の切り替え

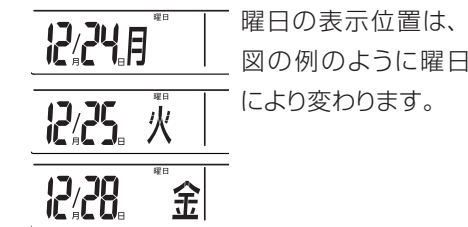
### 12/24Hボタンを押すと時刻表示が変わります。



### 時刻/日付ボタンを押すと表示位置が変わります。



### 曜日の位置について

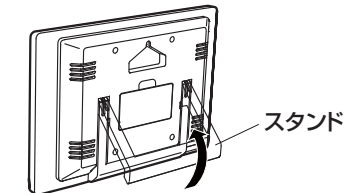


### 六曜について

旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。

○六曜は2011～2030年まで対応。  
2030年以降は表示されません。

## 掛ける



置いてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。

※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※転倒を防ぐために、水平で安定したところに設置してください。

## 標準電波を受信できない場合

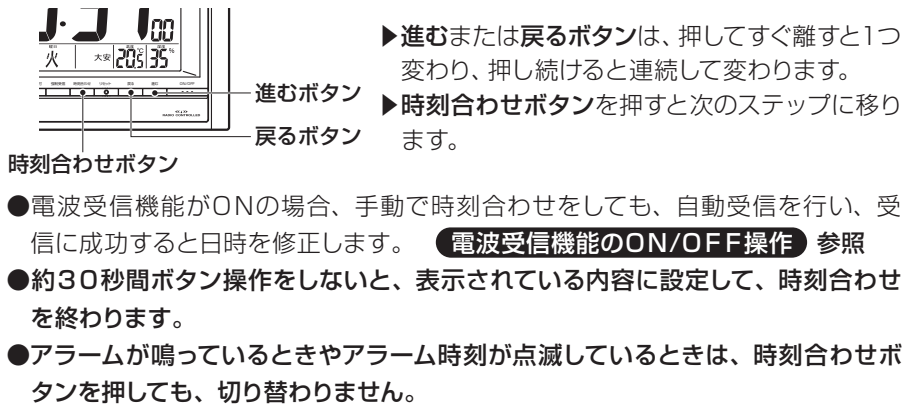
- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ざわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

## 標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせて、ご使用ください。

## 手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。このときの時間精度は、平均月差 ±30 秒のクォーツ精度になります。

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。



操作例. 2012年12月25日 午前10:37に合わせる

- 設定を開始する**  
西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける。
- 西暦年**  
進むまたは戻るボタンで「2012」年に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 月**  
進むまたは戻るボタンで「12」月に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 日**  
進むまたは戻るボタンで「25」日に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 時**  
進むまたは戻るボタンで「10」時に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 分（秒）**  
進むまたは戻るボタンで「37」分に合わせる。このとき進むまたは戻るボタンを押すたびに「00」秒に設定されます。
- 時刻合わせボタン**を押して設定を終わります。

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



## その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波（JJY）は、日本標準時（JST）をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

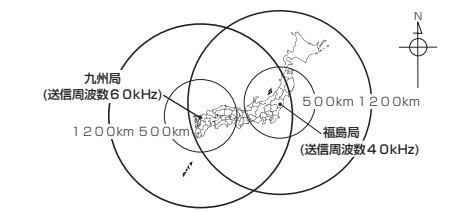
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jij.nict.go.jp）

### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 電波受信機能のON/OFF操作

### 受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。○「ピィ」と鳴ってから押してください。○OFFになると「ピィ」と鳴りません。○日付と時刻は手動で合わせてください。

### 受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピィ」と鳴って受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

## 強制受信とリセット操作



### 強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。次のようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動で時刻またはアラーム時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

### リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。